



2025年11月12日

各 位

会 社 名 株式会社イーエムネットジャパン
代 表 者 名 代表取締役社長 山本 臣一郎
(コード番号 : 7036 東証グロース)
問 合 せ 先 常務取締役 C F O 村井 仁
(TEL. 03-6279-4111)

当社の親会社 ソフトバンクグループ株式会社
代 表 者 名 代表取締役 会長兼社長執行役員 孫正義
(コード番号 : 9984 東証プライム)

当社の親会社 ソフトバンク株式会社
代 表 者 名 代表取締役 社長執行役員 兼 CEO 宮川潤一
(コード番号 : 9434 東証プライム)

2025年12月期 通期業績予想の修正（上方修正）に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、最近の業績動向等を踏まえた結果、2025年2月12日に公表いたしました2025年12月期（2025年1月1日～2025年12月31日）の通期業績予想を以下のとおり、修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 当期の通期業績予想数値の修正（2025年1月1日～2025年12月31日）

	営業収益 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円銭)
前回発表予想 (A)	1,431	120	121	81	21.12
今回修正予想 (B)	1,589	160	165	110	28.63
増減額 (B - A)	158	40	43	29	
増減率 (%)	11.0	33.3	36.4	35.8	
(ご参考) 前期実績 (2024年12月期)	1,329	93	104	69	18.07

2. 業績予想修正の理由

当社の属するインターネット広告市場は、米国の通商政策の影響、ウクライナ情勢の長期化や中東地

域の情勢悪化等の地政学的リスクによる世界経済への影響が懸念されており、先行き不透明な状況が続いている。一方で、わが国経済は、企業収益の緩やかな改善に伴う雇用環境や個人所得の改善を背景に日経平均株価は高水準で推移しており景気回復の兆しも見られており、広告主の広告需要も回復傾向にあります。

こうした状況下におきまして、引き続き当社におきましては新規顧客の獲得や既存顧客の広告予算増加に注力し、また生成AIを積極的に活用したサービスの質の向上や業務の効率化を推進して参りました。またソフトバンク株式会社との協業につきましては、当社の社員のソフトバンク株式会社への出向等を通じて、協業の拡大に注力して参りました。こうした取り組み等を背景としまして、広告代理店手数料の営業収益は、2月12日に公表いたしました業績予想を上回る水準で推移しており当第3四半期累計の営業収益は前年同累計期間比21.7%の増収となりました。また第4四半期も引き続き業績予想を上回る推移するものと想定しております、通期業績見通し比11.4%の増収を想定しております。

営業収益の内訳としまして、広告代理店手数料及びインハウス支援のコンサルティング料にかかる営業収益は、既存案件の広告予算の増額、新規案件の獲得がともに順調に進んだことにより、当第3四半期累計の営業収益は前年同累計期間比12.1%の増収となりました。引き続き第4四半期も順調に推移するものと想定しております、通期業績見通し比1.9%の増収を想定しております。

次にソフトバンク株式会社からの業務委託料につきましては、引き続き協業の拡大が進み、受託案件が増加したことにより、当第3四半期累計の営業収益は、前年同累計期間比72.9%の増収を想定しております。

最後に広告媒体からの受託業務の当第3四半期累計の営業収益は前年同累計期間比16.2%の増収となりました。引き続き第4四半期も順調に推移するものと想定しております、通期業績見通し比31.0%の増収を想定しております。

販売費及び一般管理費につきましては、2月12日に公表いたしました予想比で9.0%の増加を想定しております。主な増加の要因としまして、業績好調により2025年3月に支給した臨時の業績給や年度末の業績給の積み増しによる費用増加や、更なる生成AIに関するスキル向上の為の社外研修費用が要因となります。

以上より、営業利益につきましては、上述の営業収益の増加の影響により、前回発表の通期予想比で33.3%と想定しております。

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

3. 期末の配当予想につきまして

なお、通期業績予想は修正いたしますが、期末の配当予想につきましては、前回予想どおり未定としております。

以上